

地域包括ケア病棟のご案内

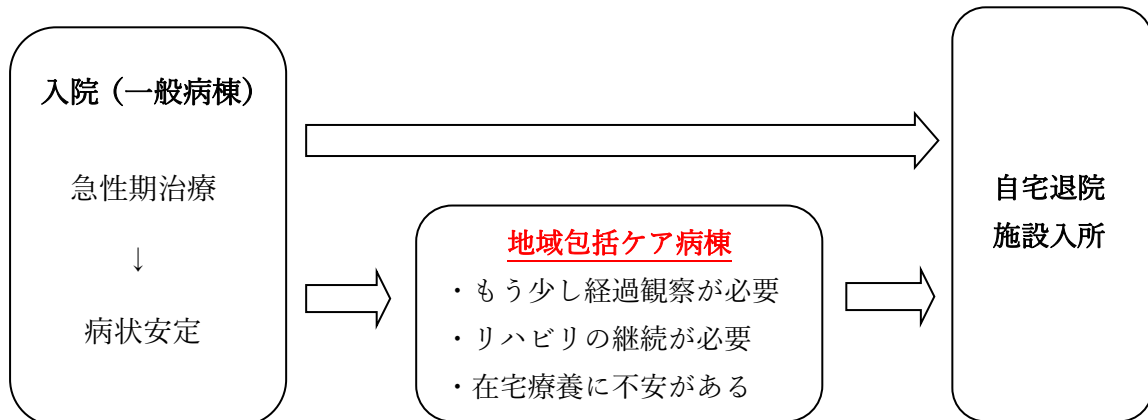
地域包括ケア病棟とは

急性期治療を終えて**病状の安定した患者さん**に対して、安心して自宅や介護施設へ復帰できるように、主治医・看護師・リハビリ療法士、在宅復帰支援担当者等が協力し、効率的な医療や退院支援を提供する病棟です。患者さんの状態により判断し、ご案内させていただきます。

対象となる患者さん

ご自宅や介護施設への復帰を目的とした、以下のような患者さんが対象となります。なお入院期間は、病状によって調整いたしますが、**40日以内**での退院を目指します。

1. 急性期治療が終了し、病状は安定してきているが、もう少し経過観察が必要な方
2. 急性期治療後、病状が安定し、リハビリテーションを実施しているが、もう少し継続してリハビリテーションが必要な方
3. ご自宅や施設に戻るにはまだ不安が残る方



※ 他院で急性期治療後の方も、当院の地域包括ケア病棟へ転入院できます。

入院費について

一般病棟からの移動（転棟）の場合、一定期間は一般病棟と同様の包括評価支払制度（DPC／PDPS）に基づく計算となり、その後に地域包括ケア病棟入院料へと移行します（患者さんの病名等によって移行時期が異なります）。いずれも一部を除き1日あたり定額となっており、投薬料、注射料、簡単な処置料、検査料、画像診断料、入院基本料などの費用が含まれます。